CA92344-1758-01

FUJITSU Software

ServerView Infrastructure Manager V2.1

仮想リソース管理機能の事前設定

2017年7月

富士通株式会社

仮想化基盤の運用監視は、ServerView Infrastructure Manager V2.1 の仮想リソース管理機能を使用 して行えます。本書は仮想リソース管理機能に必要な事前設定の情報を提供します。

本書に記載の詳細や略語については、下記のマニュアルを参照してください。

- ・ FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 ユーザーズマニュアル
- ・FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 用語集

■VMware VSAN の事前設定

VMware VSAN のホスト間のネットワーク断線による VSAN データストアの異常を検出できるように するためアラーム定義を行います。VSAN のアラーム定義の追加方法について説明します。

1. vSphere Web Client画面を表示します。[ホーム]からストレージビュータブを選択し、表示された データストアからVSANデータストアを選択します。(以下はVSANデータストア名が「vsan_ds」の 例です。)

表示された画面右側の[管理]タブ (vCenter ServerAppliance 6.5の場合は[監視] タブから[問題] を 選択)から[アラーム定義]を選択して[+]を選択します。

ナビゲータ 革	□ vsan_ds フクション *	
**-2 > O	はこのに サマリ 監護 管理 関連オブジェクト	
7 8 8 9	 設定 アラーム定義 タグ 権限 スケジュール設定タスク	ファイル
★ DataCenter1 Elletere 77	+ <	(Q 7411/2 ·
store_78	SH ZHWM	
store_79	🔚 SIOC が有効なデータストアで… 👩 🎫 🖬 🕅	
store_80	図 シンプロビジョニングボリュー 🙋 🎟 🖬 💷	
🛛 vsan_ds 💦 💙	データストア核蛇アラーム 2 10 201 201 201 201 201 201 201 201 20	
	日 データストアコンプライアンス - 🦉 電話 部部	
	🔂 ディスク上のデータストア使用率 👩 📷 🔤 📷	
	🐻 VASA プロバイダがの新されて_ 💋 🖬 🖬 🔤	
	🔂 VASA プロバイダ証明書の期. 👩 📲 🗰 💷	
	🐻 オブジェクト タイプのストレーニ 👩 日日日 三日	1

Copyright 2017 FUJITSU LIMITED

2. ウィザード画面が表示されるので、「アラーム名」と「説明」に下表のように入力して、[次へ]ボタンを選択します。

			(?) >>
イ 1 会校 2 トリガー 3 アクション	75-48 RIR	ネスト間ネットワークの新練 ネスト間のネットワークが新練した場合のアラーム	
	1270-147 1270-147	 データストア ・ ・ CPU 使用率など、特定の条件または状態 ・ 依想マシンのパワーオンなど、このオブジェクトで起きる特定のイベント 	
	⊠ c075-	ムを有効にする	
		R5 X A II	7 (キャンセル)

項目	入力内容
アラーム名	ホスト間ネットワークの断線
説明	ホスト間のネットワークが断線した場合のアラーム

3. 以下の画面で[+]を選択し、各項目を下表のように設定して、[次へ]ボタンを選択します。

3 マクション	+USe	397	A 93.69	⊕ + 60
	すべてのネストに対するデータストアの状態	次の値と等しい	ta.,	UNITOR
			1	
			R	

Copyright 2017 FUJITSU LIMITED

項目	設定値
トリガー	すべてのホストに対するデータストアの状態
演算子	次の値と等しい
警告条件	なし
重大条件	切断状態

4. アクションは設定不要です。[終了]ボタン(または[完了]ボタン)を選択します。

10 新しいアラーム定義						3
✓ 1 金紋 ✓ 2 トリガー	7ラーム状態が変更されると: ◆ ×	きのアクションを指定します。				
 ✓ 3 7 クション 	709a0	構成	0- <u>1</u>	1+0	0+ <u>1</u>	1+0
	以下の鬱陽でアクションの綾	り増し: 5 👘 分。				
	Eメール送信者が構成され アラームがトリガーされ オ アラーム ボトリガー ジー ジャ ジェ ジャ ジェ ジャ ジャ	iていません。 とときにモメールを受信するには、v	Center Server を構成1	して、メール送	信者を設定して	ください。
			読み	1 200	18.7	= ++'.+?
			969		or J	4470

5. 完了すると、アラーム定義に新しい定義が追加されます。

ナビゲータ	■ vsan_ds フカション *				
• *-4 · O	はじのに サマリ 監視 管理 関連オブジェクト				
	設定 アラーム定義 タグ 権限 スケジュール設定タスク ファイル				
▼ In DataCenter1	+ X (9.2413	-			
store 78	名射 定限場所				
store_79	ホスト間ネットワークの断線 目 このオブジェクト				
store_80	📄 SIOC が有効なデータストアで 👩 🎫 🖬 🖬				
📕 vsan_ds	> 30 シンプロビジョニング おりュー				
	データストア機能アラーム 20 10000000000000000000000000000000000				
	· データストアコンプライアンス - 🧑 中国中国部				
	💀 ディスク上のデータストア使用率 👩 👘 通知 日本				
	💀 VASA プロバイダが切断されて 🙋 🎟 副語言語語				
	🛃 VASA プロバイダ証明書の期 🧭 👘 III				
	オブジェクト タイプのストレー				

Copyright 2017 FUJITSU LIMITED

■ Storage Spaces Direct の事前設定

Microsoft Storage Spaces Direct の運用管理を行うために、ISM-VA に対して OS 監視の設定、および記 憶域プールを構成するすべてのノードに対して CredSSP 認証の有効化が必要です。以下の手順で実施し てください。

ISM-VAへの設定

ISM から OS 監視をするための設定を行います。設定方法については、「FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 監視対象 OS、仮想化管理ソフトウェアに対する設定」の(2.1 Windows への設定手順)を参照してください。

ノードへの設定

記憶域プールを構成するすべてのノードに対して CredSSP 認証の有効化を設定します。

注意

本設定を行わない場合、Storage Spaces Direct に対して仮想リソース管理機能が利用できません。 また、記憶域プールを構成するノードは、サーバーマネージャーまたはフェイルオーバクラスタマネー ジャーから確認できます。

- 1. ノードにドメイン管理者権限のユーザーでログインし、PowerShellを起動します。
- 2. 以下のコマンドを実行します。

Enable-WSManCredSSP -Role client -DelegateComputer <対象ノード (コンピューター) 名> ドメイン内のすべてのコンピューター名の指定には、ワイルドカード (*) を使用できます。 例:

Enable-WSManCredSSP -Role client -DelegateComputer *.fujitsu.local

3. 続いて以下のコマンドを実行します。

Enable-WSManCredSSP -Role server